



南部町立南部中学校 学校だより 第15号

チーム南部中

令和元年11月18日(月)
校長 望月和彦

オリンピックのメダリストが南部中に！

11月5日(火)、2012年のロンドンオリンピック柔道78kg超級で銀メダルを獲得した杉本美香さんが南部中学校に来てくださいました。杉本さんは兵庫県伊丹市出身で、オリンピック銀メダルの他、2010年の世界選手権で78kg超級と無差別級で二階級制覇の金メダルを獲得するなど世界の中でトップ選手として活躍されたあと、引退後はテレビやイベントへ出演されたり、全国各地で柔道の普及活動などに取り組んでいらっしゃる方です。当日は、全校生徒が柔剣道場に集まり、



杉本さんの紹介ビデオを見たあと、拍手でご本人を迎え講演をしていただきました。杉本さんは、人を投げたみたいと思って柔道をはじめたこと、お父さんやお母さんに反対されても粘り強くお願いしたこと、たくさんのけがや試練があったが周りのたくさんの人に支えられて乗り越えてきたこと、支えてくれた人に感謝の気持ちを伝えるためにはオリンピックで表彰台に立つしかないと思ったこと、夢をあきらめずに追求めた結果がオリンピックの銀メダルにつながったことなどを、最初から最後まで笑顔で話してくれました。メダリストはオーラ

があるとか、希望を与えてくれるとかよく言われますが、杉本さんと会い直接お話を聞くと、その意味がよくわかりました。生徒たちの質問にも優しく笑顔で答える姿が印象的でした。その後、生徒たちは全員が銀メダルを触らせてもらったり、杉本さんとハイタッチしてもらったりして大喜びでした。普段出会うことができない人と出会い、貴重なお話を聞くことができ、生徒たちの記憶に残る出来事となりました。今回の講演会を企画していただいた、内船の熊王新聞店さん、日刊スポーツ、朝日新聞社の方々には心より感謝申し上げます。以下に、生徒が杉本さんに送った感想の一部を掲載します。



私は、杉本美香さんをテレビで何度か見たことがあります。今日は杉本美香さんに会うのがすごく楽しみでした。映像を見たり、お話を聞かせてもらったりして、辛いことも乗り越えてきた素晴らしい人だと感じました。お話の中で「笑顔が大切だ」ということがありました。私はバレーをやっている、点を取られてしまったときやサーブを失敗してしまったときは落ち込んで笑顔になることができません。でも、部の先輩たちが「笑顔でね」と言いながら励ましてくれたことがありました。杉本さんが言っていたように、笑顔は勇気を与えてくれるのだと思います。これからは笑顔を大切にしていきたいです。また、杉本さんは「夢や目標を持ってほしい」と話していましたが、私には保育園の先生になるという夢があります。杉本さんが一度決めたことをあきらめなかったように、私も最後までこの夢に向かって頑張っていきたいと思います。実際に柔道を見せてもらったときは「かっこいいな」と感じ、メダルの重みを感じたときは杉本さんの頑張りが伝わってきました。オリンピック選手として有名な方とハイタッチができたことも嬉しかったです。今日、杉本美香さんに教

えてもらったこと、話してもらったことを忘れずに生活していきたいと思います。今日はありがとうございました。（1年 田中亜衣菜）

今日はお忙しい中、私たちのために来てくださり本当にありがとうございました。私は初めてオリンピック選手に会いました。メダルも見せていただき嬉しかったです。美香さんが失敗や経験を乗り越えてきた話を聞き、これから自分の人生にいかしていきたいと思いました。今、私たちは体育の授業で柔道を学習していますが、今日教えていただいたことを技の練習にも活かしてみようと思いました。美香さんが親に何度も反対されながらも、柔道をあきらめずにやり始めたことを聞いて、好きなことをやりたいという気持ちの強さがよくわかりました。私は、夢や目標がありません。これからゆっくり決めていくつもりです。もし決まったら美香さんみたいに一生懸命やります。今日の講演会はとても楽しかったし、これから役に立つことがたくさんありました。私は今日のことを絶対に忘れないで、これからも頑張っていきます。今日は本当にありがとうございました。（2年 源由梨耶）

今日は僕たちに講演をしていただきありがとうございました。山梨県に住んでいてオリンピック選手に初めて会えました。しかも、銀メダルを取って表彰台上にいる人に会えてとても嬉しかったし、お話も楽しく笑顔になりました。「絶対にあきらめない」という気持ちを大切にしている選手で、影でたくさん努力して、ずっとその努力を続けてきた選手だからこそ、オリンピックに出られてメダルが取れたのだらうと思いました。それから、偉大な選手ほど周りの人に感謝しているということがわかりました。僕は野球をやっているけど、杉本さんのように絶対あきらめないで野球を続けていきたいし、失敗して悲しんでいる仲間に寄りそえる人間になりたいです。また、杉本さんのように「笑顔」を大切にしたいです。（3年 渡邊秀喜）

音楽発表会に向けて！

11月23日（土）に「音楽発表会」を実施します。（県の行事との関係で開催日変更の通知を2度も出すことになったことをお詫び申し上げます）新人戦や中間テストが終わった10月後半から、合唱の取り組みが始まり、クラスごと、学年ごとに、合唱の目標づくりから、選曲、指揮者や伴奏者の決定、パート練習、そして各パートをあわせた合同練習などの取り組みを進めてきました。現在は、朝から放課後の下校時刻まで、校舎のあちこちから素敵な歌声が響いていて、いよいよ今週末の本番に向けて、生徒たちは最後の仕上げに力を尽くしているところです。レベルアップ



のために11月11日（月）には市川高校音楽部のメンバーと顧問の薬袋直哉先生が来校してくれました。市川高校音楽部は様々な合唱コンクールで県代表となり、関東大会や全国大会でも素晴らしい成績を上げています。体育館で学年ごとに薬袋先生や高校生から合唱を指導してもらい、最後には全校生徒が集まった場で高校生の合唱を聴かせてくれました。澄み渡った歌声と見事なハーモニーに本校生徒たちは驚きながら聴き入っていました。「あんな合唱ができれば良いな」と大きな目標になったと思います。11

月12日（火）13日（水）14日（木）には睦合小や身延小の校長先生だった山田勇先生が来校され、音楽室で各クラス1時間ずつ学級合唱を指導してくださいました。生徒たちは山田先生に小学生の頃も各校で合唱を指導してもらったことがあり、ユーモアを交えた和やかな雰囲気の中で、曲の中で注意する細かな部分をアドバイスしてもらいました。山田先生は、本番当日にも来てくださり、講評をしてくださることになっています。23日の当日、生徒たちには、たくさんの保護者やご家族の皆さんを感動させられる合唱を、さらには市川高校音楽部の皆さんや山田先生に感謝の気持ちを伝えられる合唱を、そして何よりも自分自身が満足感の得られる発表を期待しています。

